



【第43期初級陸曹特技課程「准看護師」総合訓練】

令和元年10月17日

【第43期初級陸曹特技課程「准看護師」総合訓練】

令和元年10月15日（火）～18日（金）、自衛隊札幌病院 准看護学院（学院長：高橋1佐）は、北海道大演習場真駒内射場地区において、第43期初級陸曹特技課程「准看護師」学生25名（男子14名、女子11名）に対して、第一線救護及び連隊収容所の開設・運営について基礎的事項を習得させ、衛生救護陸曹として必要な知識と技術の向上を図ることを目的とし、総合訓練を実施した。17日（木）、病院長（大鹿陸将）、副院長（菊池将補）、方面最先任上級曹長（金子准尉）及び最先任上級曹長（伊藤准尉）が視察する中、すすき台に展開した学生達は、状況開始と共に白煙の中、第一線で負傷した傷病者を捜索し、発見した傷病者をトリアージ後、応急処置及び後送を行った。また、はざま台に開設した連隊収容所では、医官の指示のもと、傷病者へ継続的に声を掛けつつ、処置介助や看護を実施した。視察した大鹿病院長が、「今回の訓練の学びを、今後部隊配属されてから発展させ頑張ってもらいたい」と訓示するとともに、最先任上級曹長から優秀隊員3名に対し、方面最先任上級曹長褒章が授与された。



白煙の中での患者捜索



傷病者の処置



連隊収容所内で傷病者の処置



自衛隊札幌病院（大鹿陸将）視察



最先任上級曹長による褒章授与



自衛隊札幌病院（大鹿陸将）訓示